

TAKE FREE

ご自由にお持ちください

水戸赤十字病院 広報誌

〒310-0011 茨城県水戸市三の丸3-12-48

TEL.029-221-5177(代表)

<http://www.mito.jrc.or.jp>

2023.02  
Vol. 28

100  
Anniversary  
since 1923 2023

虹の由来／架け橋となるような広報誌を目指します

虹



専門スキルで活躍!  
当院で働くスペシャリストたち

【速報】ロボット支援手術  
累計1000症例を達成

ことし6月に創立100周年を迎えます!

乳児血管腫の治療

症例検討会を開催しました  
就任のお知らせ

専門スキルで活躍!

# 当院で働くスペシャリストたち

病院では、医師や看護師をはじめ、国家資格を取得したスタッフが多数働いています。今回は、専門知識をさらに身につけ、新たな取組を始めている2人のスタッフをご紹介します。

## 水戸赤十字病院に 認定遺伝カウンセラー<sup>®</sup>が誕生しました

認定遺伝カウンセラー<sup>®</sup>は、日本人類遺伝学会と日本遺伝カウンセリング学会が共同で、2005年から認定が開始された資格です。

まだ全国に356名(2022年12月現在)という、決して多くはない有資格者数ではありますが、「遺伝」や「遺伝子」に関連するさまざまなことについて、患者さまやご家族の今の気持ちを尊重しつつ、その人らしい結論を出すためにサポートをする専門家です。

私は2022年に認定遺伝カウンセラー<sup>®</sup>の資格を取得し、当院でのカウンセリングを開始しました。

がんの患者さまやそのご家族、妊婦さん、生まれつきの病気をお持ちの方などに、必要に応じてお話をさせていただきます。

遺伝カウンセリングでは、患者さまがご自身のがんや体質についてどのように理解され、どのような思いを持っておられるかを伺います。遺伝性の腫瘍はどのようなものかといったことや、出生前診断をはじめ、妊婦さんが直面する検査結果などに情報を提供していきます。

遺伝カウンセリングを受診したからといって、必ず遺伝学的検査を受けなければならないということはありません。どのような選択や対策を選ぶと良いのか、患者さまの気持ちにそって、一番納得できる選択肢を一緒に考えることができるよう心がけています。



認定遺伝カウンセラー<sup>®</sup>  
長谷川 梓乃

## 人生100年時代、自分らしく生きるサポート 老人看護専門看護師 活躍中

専門看護師は、水準の高い看護を効率よく行うための技術と知識を深め、卓越した看護を実践できると認められた看護師です。全国で14分野3,155名、老人看護分野では248名(2022年12月現在)が専門看護師に認定されています。

私は、2021年に日本看護協会が認定する「老人看護専門看護師」を取得しました。

年を重ねると新たな病や機能低下をきたし、場合によっては、治療や今後のことなど難しい選択が多くなってきます。高齢者の方々の歩んできた歴史や尊厳、意思、強み、自分らしさを大事にしながら、それぞれにふさわしい医療やケアを提供できるように努めてまいります。何かお役に立てることがありましたら、ご連絡いただくと幸いです。



3-4病棟 老人看護専門看護師

森島 一成

### 活動内容の一部

- ・高齢者の方々やそのご家族に多職種連携・専門的な視点で寝たきり予防や退院支援を実施
- ・高齢者ケアに関する相談…加齢に伴う健康相談、認知症ケア、食事支援、不眠症、ご自宅での生活の継続など
- ・看護学生、看護師や地域を対象に高齢者に関する医療やケアについての講演会実施

# ことし6月に創立100周年を迎えます!

当院は、1923(大正12)年6月14日、日本赤十字社茨城支部病院として現在の地に開院しました。以来、戦時下、災害下においても途絶えることなく、地域の中核病院として診療を続け、2023(令和5)年に100周年を迎えます。長きにわたり、支えてくださった地域の皆さまに心から感謝いたします。これからも、職員一人ひとりが赤十字の責任と誇りをもって精進してまいります。



100年に感謝 ~これからも地域とともに~

病気・災害のときに人々の希望となり、未来を明るく照らすように、という願いを込めて、「輝き」をモチーフにデザインされました。



▲創立当時の外観



## ロボット支援手術 累計1000症例を達成

速報

当院では、2013(平成25)年から手術支援ロボット「da Vinciサージカルシステム」を用いたロボット支援手術を実施しています。2023(令和5)年2月7日、累計1000症例を達成しました。今後も幅広い領域で質の高い医療を提供できるよう努めてまいります。

Information

## 形成外科 乳児血管腫の治療



治療開始前  
(ひざ)



内服8週目



治療完了時

乳児血管腫(いちご状血管腫)とは、生後数日から出現する赤色または薄青色のしこりです。体中のどこにも発生し、2歳くらいまで増大する傾向があります。その後は小さくなりますが、白色の目立つ傷あとを残します。

従来、乳児血管腫に対してはレーザー治療や手術などを行っていましたが、効果は限定的でした。2014年にフランスでプロプラノロール内服療法が開発されました。24週間、プロプラノロール(ヘマンジオルシロップ®)を内服することで、早期治癒を図ることができます。

乳児血管腫に対して効果が大きいため、現在では第1選択の治療となっています。当院ではこの内服療法を2016年から取り入れ、これまで数十例の治療を手がけています。

内服療法で反応が不十分だった場合にはレーザー治療を追加することもあります。また、治癒後の傷あとが気になる方は切除手術も行っています。

命にかかわる疾患ではありませんが、きれいに治すためには早期治療が大切です。

気になることがありましたらお気軽にご相談ください。



▲(左)馬本直樹 形成外科部長、  
(右)藤田悠気 医師

# 症例検討会を開催しました。

令和5年1月25日(水)、「令和4年度第2回症例検討会」を開催しました。

今年度の症例検討会では、研修医が紹介する症例について、臨床検査技師が超音波所見について説明し、最後に病理診断科の堀眞佐男部長が病理解説を行う形をとっています。今回は以下3つの症例が発表され、司会の乳腺外科 栗原俊明副部長の下、活発な議論が交わされました。良性腫瘍から悪性腫瘍へ転化した症例をはじめ、早期発見・早期治療に活かせる内容もあり、参加者にとって新たな気づきを得られる機会となりました。

今回はWEB配信を同時に実施し、院内の参加者は35名、院外の参加者は20名でした。今後もさまざまな症例の情報提供、共有ができるよう努めてまいります。

## 【発表症例】

- ◆ 乳腺線維腺腫内に認められた非浸潤性小葉癌の1例
- ◆ 左乳癌の診断で手術を予定した1例
- ◆ 乳房温存術後の大胸筋下に生じた腫瘍の1例



## 産科の電話予約について

受診希望の妊婦さんからの電話予約を受け付けております。

☎ 029-221-5177(代)

受付時間：9:00～16:30(月～金)

※休診日(土・日・祝日など)を除きます。

「産科外来の  
予約を希望」と  
お伝えください。



## ● 就任のお知らせ

内 視 鏡 長

まるもり たけし  
**丸森 健司**  
【令和5年2月1日付】

健 診 課

なかの きいちろう  
**中野 基一郎**  
【令和5年2月1日付】

研 修 医

すみたに じゅんじ  
**住谷 淳治**  
【令和5年2月1日付】

左記の職員が新たに就任いたしました。  
よろしくお願いたします。

## 紹介状持参のお願い

次の場合は、「**紹介状**」が必要です。

- ・当院を初めて受診される場合
- ・患者さまが任意に診療を中止し、改めて受診される場合
- ・当院での治療が終了し、再び来院され受診される場合

お持ちでない方は

選定療養費 **7,700円**<sup>(税込)</sup>が必要となります。

産科を受診される方は、選定療養費はかかりません。  
皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

